

03

カンボジア/プノンペン

総面積：693km² / 人口：280万人 /
人口密度：4,040.4人 / km²



都市の現状

プノンペンは、トンレサップ川とメコン川が出会うカンボジア南部に位置する。また、カンボジアの首都であり、行政、文化及び経済の中心地である。この都市は、フランスの植民地時代の都市計画による美しい景観で知られているが、近年の経済成長により高層ビル等の建設が進んでいる。

スマートシティ行動計画

ビジョン：都市環境を改善し、市民の生活の質を高める。

重点分野：整備されたインフラ、質の高い環境、市民及び社会参加

Project 1：11カ所の歩道再生プロジェクト

目的：11カ所の大通りの歩道の再生、修復及び再目的化による歩行者専用道路を増やす。

・交通量への負荷を減らし、緑地帯を増やす。

目標：環境の品質を向上させる。

・魅力的で歩きやすい歩道を建設することにより、歩行者の移動と公共交通の接続性を高める。

・ソーシャルメディア及び公開討論会を通して、公共交通政策及び管理枠組みの設計への市民参加を促す。

・人々と商業の公共アクセス向上に向けて、公共空間を再設計する。

Project 2：公共交通開発効率性向上プロジェクト

目的：都市バスの輸送量を増やし、水上バス、AGT、タクシー、配車サービスなどの他の公共交通機関を促す。

目標：都市バスの輸送量を増やし、運転経路を広げる。

・スマート技術（キャッシュレス支払いシステム、GPS 追跡システム、インフラ、顧客サービスなど）を活用して、バスのサービスを近代化して効率性を高める。

・プノンペン都市交通マスタープラン2035を実行する。

取組み状況

Project 1

- ・11カ所のうち3カ所の重要な大通り再生プロジェクトが進行中
- ・3カ所の大通りに沿って街路樹を新たに移植・交換
- ・大通り沿いに排水システムをこの程設置
- ・ミネベア株式会社によるスマート照明など街並みの美化及び街路支援設備及びバス待合所を設置
- ・リアルタイム及び交通量に基づくスマート交通信号及びCCTV監視センターの設置（交通管理の向上及びセキュリティ確保のため）
- ・フランス政府の技術支援により、プノンペン南部地区における詳細な都市設計の調査・実施が完了



Project 2

- ・11カ所の歩道再生プロジェクト
- ・バス235台・13路線の確立
- ・NFC（近距離無線通信）接続を用いたスマート決済
- ・スマートフォン向けリアルタイムバス交通情報アプリ
- ・交通の接続性・利便性向上のため、配車サービスの個人事業者の役割を認識し、従来のバイクタクシーやトゥクトゥクにより市民のバス停までの接続を確保
- ・JICAの支援によりプノンペン都庁に設置された交通管制センターの運用開始1年目
- ・日本との協力によるAGT（自動案内軌条式輸送システム）フィージビリティ・スタディの実施
- ・アジア開発銀行、貧困削減日本基金及びJICA支援によるSSIUPTD（持続可能な統合都市公共交通開発支援）プロジェクトに取り組み中